

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	湖北森林計画区（こほく） （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署												
事業の概要・目的	<p>湖北森林計画区は滋賀県の北部に位置し、国有林野10,240haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林6,936ha(68%)、森林と人との共生林3,080ha(30%)、資源の循環利用林224ha(2%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>438(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.9(km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>157,049(千円)</p>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	438(ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	1.9(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	438(ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	1.9(km)													
費用対効果分析	<p>総便益(B)</p> <p>1,557,541(千円)</p> <p>総費用(C)</p> <p>183,232(千円)</p> <p>分析結果(B/C)</p> <p>8.50</p>														
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大阪森林計画区（おおさか） （大阪府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>大阪森林計画区は大阪府全域が区域であり、国有林野1,037haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、森林と人との共生林1,033ha(100%)、資源の循環利用林4ha(0%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>4 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>233 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.4 (km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>81,063 (千円)</p>			森林整備	更新面積	4 (ha)		保育面積	233 (ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	3.4 (km)
森林整備	更新面積	4 (ha)													
	保育面積	233 (ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	3.4 (km)													
費用対効果分析	<p>総便益 (B)</p> <p>788,787 (千円)</p> <p>総費用 (C)</p> <p>118,540 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C)</p> <p>6.65</p>														
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	円山川森林計画区（まるやまがわ） （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署												
事業の概要・目的	<p>円山川森林計画区は兵庫県の北部に位置し、国有林野4,291haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林3,478ha(81%)、森林と人との共生林800ha(19%)、資源の循環利用林13ha(0%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>500(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>122,145(千円)</p>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	500(ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	500(ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	<p>総便益(B)</p> <p>1,330,715(千円)</p> <p>総費用(C)</p> <p>149,629(千円)</p> <p>分析結果(B/C)</p> <p>8.89</p>														
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	日野川森林計画区（ひのかわ） （鳥取県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署												
事業の概要・目的	<p>日野川森林計画区は鳥取県の西部に位置し、国有林野5,689haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林2,227ha(39%)、森林と人との共生林3,439ha(61%)、資源の循環利用林23ha(0%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>383 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>232,616 (千円)</p>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	383 (ha)	路網整備	開設延長	3.8 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	383 (ha)													
路網整備	開設延長	3.8 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	<p>総便益 (B) 1,209,171 (千円)</p> <p>総費用 (C) 248,108 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 4.87</p>														
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	江の川下流森林計画区（ごうのかわかりゅう） （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署												
事業の概要・目的	<p>江の川下流森林計画区は島根県の中央部に位置し、国有林野10,415haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林8,965ha(86%)、森林と人との共生林1,146ha(11%)、資源の循環利用林304ha(3%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>67 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,480 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.7 (km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>743,427 (千円)</p>			森林整備	更新面積	67 (ha)		保育面積	2,480 (ha)	路網整備	開設延長	1.0 (km)		改良延長	0.7 (km)
森林整備	更新面積	67 (ha)													
	保育面積	2,480 (ha)													
路網整備	開設延長	1.0 (km)													
	改良延長	0.7 (km)													
費用対効果分析	<p>総便益 (B) 8,861,101 (千円)</p> <p>総費用 (C) 959,441 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 9.24</p>														
評価結果	<p>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	山口森林計画区（やまぐち） （山口県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所																				
事業の概要・目的	<p>山口森林計画区は山口県の南部中央に位置し、国有林野2,900haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保持林2,721ha(94%)、森林と人との共生林92ha(3%)、資源の循環利用林87ha(3%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応じていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">・ 主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">35 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">843 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.0 (km)</td> </tr> <tr> <td>・ 総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">273,357 (千円)</td> </tr> </table>			・ 主な事業内容	森林整備	更新面積	35 (ha)			保育面積	843 (ha)		路網整備	開設延長	(km)			改良延長	1.0 (km)	・ 総事業費			273,357 (千円)
・ 主な事業内容	森林整備	更新面積	35 (ha)																				
		保育面積	843 (ha)																				
	路網整備	開設延長	(km)																				
		改良延長	1.0 (km)																				
・ 総事業費			273,357 (千円)																				
費用対効果分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">総 便 益 (B)</td> <td style="text-align: right;">3,344,087 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td style="text-align: right;">376,064 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">8.89</td> </tr> </table>			総 便 益 (B)	3,344,087 (千円)	総 費 用 (C)	376,064 (千円)	分析結果 (B/C)	8.89														
総 便 益 (B)	3,344,087 (千円)																						
総 費 用 (C)	376,064 (千円)																						
分析結果 (B/C)	8.89																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						